

オールレディース マクール杯

トンネルをついに脱出! 細川裕子が 今年初優出初Vで浮上のきっかけつかむ

津 4月19日~24日

WINNER 細川裕子



今節は特殊な形をしていたペラだったので、叩くことができなかつた。調整の収穫はゼロでしたね(笑)。整備も考えていたけど止めて準優のままで行きました。展示の時点で合っていなかつたので、スタートを行って先に回らないとダメかと思いましたが、

津のマクール杯はオールレディースとして行われた。戦前は守屋美穂と浜田亜理沙の2強対決が濃厚と思われていたものの思わぬ形で明暗が分かれた。開幕から4連勝を決めた浜田に対して守屋は初日ドリーム戦を1号艇で大敗するなど精細を欠く。それでも何とか立て直して行くが、3日目にまさかのFを切り賞典除外となってしまう。守屋が戦線を離脱したことでシリーズは浜田一強ムード。予選1位を難なくつかみ取るが、準優では宇野弥生が意地を見せ、3コースからまくり差し、細川裕子に1号艇が転がり込んできた。迎えた最終日の優勝戦当日は風の影響もあまりなく、水面もベストのコンディション。スリットでは、コンマ0台のスタートを4艇が踏み込む早いスタート合戦の中、細川もコンマ10のタイミングから力強く1Mを先取して逃げ切った。

細川の優勝は昨年10月の尼崎以来で今年が初。意外にも優出もこれが今年初で「絶不調の今、勝率勝負で今回はきたんですけれどA2級に落ちたらやり直せばいいと考えていました」と割り切っていたことで、成績もいいうに転がった。「これからも攻めるレースを見せていきたい」と話した細川はその後もびわこ、常滑レディースオールスターでも6強入り。遅まきながら復調の足がかりをつかんだ様子だった。

優勝戦結果

着	枠	選手名	進入	ST	タイム
1	①	細川 裕子	1	10	1.50.6
2	③	宇野 弥生	3	09	1.51.3
3	④	浜田亜理沙	4	06	1.52.9
4	⑥	大橋栄里佳	6	12	1.53.9
5	⑤	土屋 千明	5	06	
6	②	喜井つかさ	2	05	

2連単 ①-③ 430円 3番人気 逃げ
3連単 ①-③-④ 950円 2番人気

巡ってきたチャンスは逃さない! 田中辰彦が逃げて自身初の年間複数Vを達成

マクール杯

三国 4月21日~25日

WINNER 田中辰彦



このまま藤原の優勝となりそうだったが、そうはならなかつた。準優12Rで藤原は1Mのターンを大きく外し、廣瀬将亨がまくり差しして突き抜ける。これによりポールポジションは唯一初日からオール2連対を守った田中辰彦のもとに転がり込んできた。その田中はインからコンマ05のトップスタートを決めると、2コースからジカでまくってきた黒井達矢にも動じず先

マスターズチャンピオンの裏で行われたとあって豪華メンバーが集結した三国のマクール杯。主力と目されたのは山口剛、平本真之、河合佑樹のSGレーサー3選手だが、それぞれ予選中はインで敗れるなどピリッとならない。そうした中で藤原碧生がシリーズの主役に立つ。これがF休み復帰節であったものの全くブランクを感じさせない走り、2日目から4連勝。予選トップ通過を果たした。

優勝戦結果

着	枠	選手名	進入	ST	タイム
1	①	田中 辰彦	1	05	1.49.0
2	④	藤原 碧生	4	11	1.51.3
3	⑤	山口 剛	5	13	1.52.5
4	③	廣瀬 将亨	3	09	1.53.3
5	②	黒井 達矢	2	10	
6	⑥	松村 敏	6	13	

2連単 ①-④ 590円 2番人気 逃げ
3連単 ①-④-⑤ 1760円 6番人気

マイから逃走を決めた。2着にはブイ際を差した藤原。3着には廣瀬が道中有利に運んでいたが、最終回1Mで山口剛が逆転した。優勝した田中はこの2節前にも徳山で優勝したばかりで、選手人生としては初の年間複数Vを達成。A1級勝負駆けも成功し充実期を迎えている印象すらある。

優勝できて良かったです。今節は2走目かな? キャブ交換をしてからはずっと足が良かったので。優勝戦は何の問題もないって訳ではなかつたですけどね(苦笑)。今節はA1級の勝負駆けできたので、これで一安心できました。